

# 沖縄観光危機管理セミナー 講師紹介

日時:平成30年12月4日(火)13:00~17:00

場所:沖縄コンベンションセンター 会議場5・6・7

〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1

交通アクセス情報 <http://www.oki-conven.jp/access>



【第1部】ワークショップ 13:05~13:40

「災害時対応をわがことへ」～災害対応カードゲーム～

**鎌田 耕** (一財)沖縄観光コンベンションビューロー 危機管理チーム 主任研究員

「クロスロード」は全国各地や海外で広く活用、いくつものバージョンが作成されている災害対応カードゲームで、その効果を実証されています。今回のセミナーでは、試作版沖縄観光危機管理編クロスロードを用いて、災害対応における重要で難しい決断に対して参加者が自分自身でYES/NOの意見を示し、それぞれの意見や考え方について意見交換を行いながら災害時対応をわがこととして考え、災害対応や減災対策に必要なことを考えていきます。

【第2部】講座 13:40~14:30

観光危機管理概論 ～マリンアクティビティ編～

**山崎 晴彦** 琉球国際航業株式会社 取締役

「沖縄県観光危機管理基本計画」「南城市観光危機管理計画」策定や市町村勉強会等、沖縄県における観光危機管理の取組に関して多くの指導経験をもつ講師が、観光危機管理について、事例などを紹介しながらわかりやすく概論を説明します。

【第3部】講演 14:35~15:25

「今、私たちにできる事」～地震・津波に備えた先進的な取組紹介～

**谷舞 章彦** 和歌山県串本町 串本ダイビング事業組合 安全対策部門 部長

本州屈指のダイビングスポットがあり、様々なマリンアクティビティが盛んである和歌山県串本町から講師をお招きし、串本ダイビング事業組合として、ダイビング中に地震・津波が発生した想定で、津波避難訓練を主催したご経験、そしてそこから見えた課題と取組み、他機関との連携などについてお話していただきます。

【講師より】

「そなえよつねに」の精神で「今、私たちが出来る事」を考え続ける事が重要だと思います。防災・減災に正解や答えは無いと思いますが、継続して考えていくことが重要です。



【第4部】ワークショップ 15:40~16:55

「災害時、観光客をどう守る？」～被害想定・避難誘導シミュレーション～

**山崎 晴彦** 琉球国際航業株式会社 取締役

DIG(Disaster Imagination Game)の手法を用いて、地域特性や観光客の行動特性を考慮しながら、危機の想定や災害時の対応の手順を地図上で体験します。災害時を具体的にイメージすることで観光客の避難誘導に必要なことを考えます。

【講師より】

災害(危機)に対応するには、どれだけ想定できているかが重要です。どこがどのような状況になるか。観光客がどこにどれだけいるか。避難経路は大丈夫か。などあらかじめ想定しておく、いざという時に対応できます。



**専用申込書に記入の上、メールかFAXでお申し込みください。**

お申込み・お問い合わせ

※申込先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

(一財)沖縄観光コンベンションビューロー 企画・施設事業部 危機管理チーム 齋藤・上里

TEL:098-859-6126 FAX:098-859-6221 E-mail:kikikanri@ocvb.or.jp